



「KCAPベンチャー1号ファンド」での投資について ～藻類による有用脂質の研究開発を行う「株式会社 ファイトリピッド・テクノロジーズ」へ投資～



京都銀行（頭取 安井 幹也）と京都キャピタルパートナーズ株式会社（代表取締役社長 山本 洋史）が出資・運用する「KCAPベンチャー1号ファンド」は、「株式会社 ファイトリピッド・テクノロジーズ」へ投資いたしました。今回、同社がシード期の資金調達を実施し、これに投資したものです。

同社は、植物や藻類に含まれる脂質類の有用利用を研究開発するベンチャー企業です。油脂高生産藻「ナンノクロロブシス」を独自の技術を用いて高効率培養し、食用植物油脂やサプリメント、新規医薬品材料等の提供を実施するほか、長期的にはバイオ燃料生産の展開により、地球の温暖化防止や環境維持への貢献を目指してまいります。

京都銀行と京都キャピタルパートナーズは、今後も成長が期待できる企業への積極的な支援を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企 業 名	株式会社 ファイトリピッド・テクノロジーズ
代 表 者	代表取締役CEO 太田 啓之
所 在 地	横浜市緑区長津田町4 2 5 9－3
設 立	2 0 2 1 年 4 月 1 日
事業内容	植物・藻類を用いた有用脂質生産、研究開発

2. 投資について

本件投資により「株式会社 ファイトリピッド・テクノロジーズ」は、自社培養施設を設置し、藻類による有用脂質の大規模生産の仕組みづくりを進めてまいります。



3. KCAPベンチャー1号の概要

名 称	KCAPベンチャー1号投資事業有限責任組合 (略称：KCAPベンチャー1号ファンド)
投資対象	関西圏を中心とした革新的な技術・サービスを展開するベンチャー企業 ※以下のいずれかに該当する企業は関西外でも投資いたします。 ・京都銀行および取引先企業の経営課題の改善あるいは新規事業協業等に資する事業を行っている。 ・日本発でグローバルトップが狙える可能性がある事業を行っている。
出 資 者	無限責任組合員（GP）：京都キャピタルパートナーズ株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	100億円
京都銀行出資額	99億90百万円
設 立	2024年9月13日
存続期間	12年（2024年9月～2036年12月） 但し合意により3年間の延長可能

以 上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践である **SDGs** 達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースに **SDGs** の目標のアイコンを明示しております。

